

標題

「バルクキャリア」という用語の明確化等に関する決議
MSC.277(85)のバハマ籍船への適用について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-1012
発行日 2014年11月14日

各位

今般、バハマ主管庁より、「バルクキャリア」という用語の明確化等に関する決議 MSC.277(85)の適用に関し、個船毎に対応を判断する旨通知がございました。

バハマ主管庁からの本通知に伴い、2009年2月3日付にて発行致しました弊社テクニカルインフォメーション(No.TEC-0765)より、バハマ籍の取扱いを削除致します。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

一般財団法人 日本海事協会 (ClassNK)
本部 管理センター 国際室
住所: 東京都千代田区紀尾井町 4-7(郵便番号 102-8567)
Tel.: 03-5226-2038
Fax: 03-5226-2024
E-mail: xad@classnk.or.jp

添付:

1. ClassNK テクニカルインフォメーション No. TEC-0765(Rev.)

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。

標題

「バルクキャリア」という用語の明確化等に関する決議
MSC.277(85)の適用について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-0765(Rev.)
発行日 2009年2月3日
(改訂日: 2014年11月14日)

各位

2008年11月26日から2008年12月5日にわたり開催されたIMO MSC85において、「バルクキャリア」という用語の明確化並びに、時々乾貨物をばら積みする第XII/1.1規則及び第II-1章に合致するバルクキャリアとは判定されない船舶に対するSOLAS条約中の規則適用のためのガイダンスである、決議MSC.277(85)が採択されました。(添付ご参照ください)

主な内容は次のとおりです。

1. 船体の横断面形状にかかわらず、主に乾貨物をばら積みすればバルクキャリアとみなされる。(添付第1.3項参照)
2. ウッドチップ、セメント等特定の貨物の専用船は、荷役設備等の条件を満足することによりバルクキャリアとはみなされない。(同第1.5項参照)
3. バルクキャリアではない船舶が、時々乾貨物をばら積みすることを許容するための規定が設けられた。(同第1.6および1.7項)
4. 上記2)および3)に該当する船舶に対しては、当該規定を適用したことを証明するステートメントが必要である。(同第1.10項)
5. 上記2)の規定は、2009年1月1日以降にキールが据え付けられる船舶に適用する。(同第1.1項)
6. 上記1)および3)の規定は、2010年7月1日以降にキールが据え付けられる船舶に適用する。(同第1.2項)

本決議は非強制的決議であり、同決議の適用の要否は旗国政府の裁量に委ねられます。

つきましては、旗国政府から同決議の適用に関する指示を受け取り次第、随時ClassNKテクニカル・インフォメーションを発行する予定です。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

財団法人 日本海事協会 (ClassNK)
本部 管理センター 国際室
住所: 東京都千代田区紀尾井町4-7(郵便番号 102-8567)
Tel.: 03-5226-2038
Fax: 03-5226-2024
E-mail: xad@classnk.or.jp

添付:

1. 決議MSC.277(85)およびその仮訳

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任を負いかねます。
- バックナンバーは、ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。

決議 MSC.277(85)の仮訳

「バルクキャリア」という用語の明確化並びに時々乾貨物をばら積みする、第 XII/1.1 規則及び第 II-1 章に合致するバルクキャリアとは判定されない船舶に対する SOLAS 条約中の規則適用のためのガイダンス

(中略)

1. 関係政府に次を促す(urge する):

- .1 本決議の規定は、SOLAS で定義されるバルクキャリア及び本決議のパラグラフ 1.5 に記述された船舶であって、2009 年 1 月 1 日以降にキールが据え付けられる船舶又は同等の建造段階にある船舶に適用する。
- .2 本決議の規定は、SOLAS で定義されるバルクキャリア及び本決議のパラグラフ 1.3.2、1.6 及び 1.7 に記述された時々(occasionally)乾貨物をばら積みする船舶であって、2010 年 7 月 1 日以降にキールが据え付けられる船舶又は同等の建造段階にある船舶に適用する。
- .3 「バルクキャリア」という用語及びその定義を次のように解釈する:
 - .1 「主に(primarily)乾貨物をばら積みする」とは、主として乾貨物をばら積みするよう設計されており、かつ、ばらの(梱包されない)状態で、積載され、荷積み及び荷揚げされる貨物を、その貨物が船舶の貨物区域の全てまたは大部分を占有した状態で輸送できるように設計されていることを意味する。
 - .2 「鉱石運搬船および兼用船のようなタイプの船舶を含む」および「一般に、一層の甲板を備え、貨物区域にトップサイドタンク及びホッパーサイドタンクを設けた船舶」とは、船舶が鉱石運搬船または兼用船でないこと、または明記された構造的特徴のいくつかまたは全てが欠けていることを以ってバルクキャリアの定義から外れるとはみなされないことを意味する。
- .4 上記の定義に関連し、バルクキャリアはばらの(梱包されない)状態で荷積み及び荷揚げされない貨物を積載することがあること、そのような場合でも依然としてバルクキャリアであるということに留意する。
- .5 船種を判定する目的のために考慮すべき貨物の範囲から、以下の貨物を除外することにより、特定の専用船に対して第 II-1 章、第 III 章、第 IX 章、第 XI-1 章及び第 XII 章の規定を不適切に適用することを避ける。

- .1 ウッドチップ
- .2 セメント、フライアッシュおよび砂糖

ただし、10トンを超えるグラブ、パワーショベルおよび貨物倉の構造に頻繁に損傷を与えるような手段で荷積み及び荷揚げが行われないことを条件とする

.6 パラグラフ 1.3 及び 1.5 に記述された船舶以外の船舶が時々乾貨物をばら積みすることを許容する。ただし：

- .1 それらの船舶は、二重船側構造であること。（「二重船側構造」は SOLAS 第 XII 章のバルクキャリアの定義に対応するものである。）
- .2 指定された乾舷は、乾舷を減じていない B 型であること。
- .3 それらの船舶は、以下に示す範囲のバルクキャリアに適用可能な SOLAS 条約の規則に適合していること。

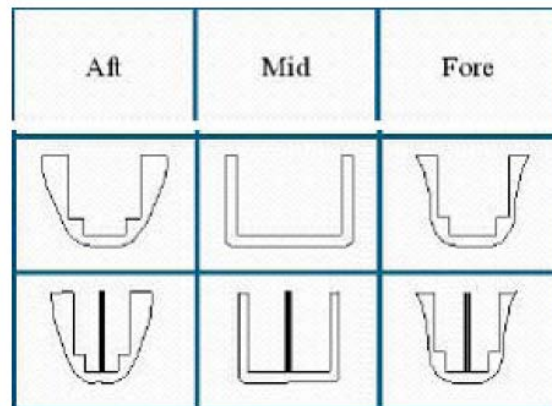
SOLAS regulation
第II-1/3-2.2規則（全種類の船舶に対する専用海水バラストタンク及びバルクキャリアの二重船側区画に対する保護塗装）
第XII/6.2, 6.3及び6.4規則（バルクキャリアに対する構造及びその他の要件）
第XII/10規則（固体ばら積み貨物比重の宣言）
第XII/11規則（積付計算機）
第XII/12規則（貨物倉、バラストタンク及び乾燥区画の浸水警報装置）
第XII/13規則（ポンプ装置）

.7 長さが 100m 未満で単船側構造の船舶が時々乾貨物をばら積みすることを許容する。ただし：

- .1 指定された乾舷は、乾舷を減じていない B 型であること。
- .2 それらの船舶は、以下に示す範囲のバルクキャリアに適用可能な SOLAS 条約の規則に適合していること。

SOLAS regulation
第XII/11規則（積付計算機）
第XII/12規則（貨物倉、バラストタンク及び乾燥区画の浸水警報装置）
第XII/13規則（ポンプ装置）

- .8 上記パラグラフ 1.6 で参照される船舶は、一般的に (commonly)、二層甲板となっているか、または船首部及び船尾部の貨物倉の内部構造が、下図で例示されるような不連続構造をもつ配置となっていることに留意する。



- .9 パラグラフ 1.6 および 1.7 に適合する船舶はバルクキャリアとはみなさないが、対応する適切なパラグラフに記載された規定に適合することを条件として、これらの船舶が時々乾貨物をばら積みすることを許容する。
- .10 パラグラフ 1.5 の規定にあてはまる船舶及び時々乾貨物をばら積みする船舶に対して、本決議の規定の基づき、パラグラフ 1.5, 1.6 あるいは 1.7 を適用したことを証明するステートメントを発行する。

2. 関係政府に対し、本決議の内容を全ての関連する団体へ注意喚起するよう要請する。

Resolution MSC.277(85)

CLARIFICATION OF THE TERM “BULK CARRIER” AND GUIDANCE FOR APPLICATION OF REGULATIONS IN SOLAS TO SHIPS WHICH OCCASIONALLY CARRY DRY CARGOES IN BULK AND ARE NOT DETERMINED AS BULK CARRIERS IN ACCORDANCE WITH REGULATION XII/1.1 AND CHAPTER II-1

THE MARITIME SAFETY COMMITTEE,

RECALLING Article 28(b) of the Convention on the International Maritime Organization concerning the functions of the Committee, NOTING that the 1997 SOLAS Conference adopted chapter XII of the International Convention for the Safety of Life at Sea (SOLAS), 1974 concerning additional safety measures for bulk carriers,

NOTING ALSO that SOLAS chapter XII which entered into force on 1 July 1999 has since been revised by the adoption of resolutions MSC.170(79) and MSC.216(82), NOTING FURTHER that definitions of the term “bulk carrier” exist in SOLAS chapters II-1, IX and XII,

DESIRING to ensure that all Contracting Governments to the 1974 SOLAS Convention implement SOLAS chapters II-1, III, IX, XI-1 and XII in a consistent and uniform manner,

RECOGNIZING, therefore, the need to establish, for that purpose, guidance on applications of, and interpretations to, the relevant provisions of SOLAS,

1. URGES Governments concerned to:
 - .1 apply the provisions of this resolution to bulk carriers as defined in SOLAS and to ships as described in paragraph 1.5 of this resolution the keels of which are laid or which are at a similar stage of construction on or after 1 January 2009;
 - .2 apply the provisions of this resolution to bulk carriers as defined in SOLAS and to ships which occasionally carry dry cargoes in bulk as described in paragraphs 1.3.2, 1.6 and 1.7 of this resolution the keels of which are laid or which are at a similar stage of construction on or after 1 July 2010;
 - .3 interpret the term “*bulk carrier*” and its definition as follows:
 - .1 “*primarily to carry dry cargo in bulk*” means primarily designed to carry dry cargoes in bulk and to transport cargoes which are carried, and loaded or discharged, in bulk, and which occupy the ship’s cargo spaces exclusively or predominantly; and
 - .2 “*includes such types as ore carriers and combination carriers*” and “*constructed generally with single deck, top-side tanks and hopper side tanks in cargo spaces*” means that ships are not considered outside the definition of bulk carriers on the grounds that they are not ore or combination carriers or that they lack some or all of the specified constructional features;
 - .4 note with respect to the above definitions that bulk carriers may carry cargoes which are not loaded or discharged in bulk, and remain bulk carriers while so

doing;

.5 avoid the inappropriate application of provisions of chapters II-1, III, IX, XI-1 and XII to certain dedicated ship types by excluding from the scope of cargoes deemed, for the purpose of determining ship type, to be dry cargoes carried in bulk:

.1 woodchips; and

.2 cement, fly ash and sugar,

provided that loading and unloading is not carried out by grabs heavier than 10 tonnes, power shovels and other means which frequently damage cargo hold structures;

.6 permit ships other than those described in paragraphs 1.3 and 1.5 to occasionally carry dry cargoes in bulk, provided:

.1 they are of double-side skin construction (where “double-side skin construction” is as defined in SOLAS chapter XII in relation to bulk carriers);

.2 the freeboard assigned is type B without reduced freeboard; and

.3 they comply with SOLAS regulations as applicable to bulk carriers to the extent indicated below:

SOLAS regulation
Regulation II-1/3-2.2 (Protective coatings of dedicated seawater ballast tanks in all types of ships and double-side skin spaces of bulk carriers) ¹
Regulations XII/6.2, 6.3 and 6.4 (Structural and other requirements for bulk carriers)
Regulation XII/10 (Solid bulk cargo density declaration)
Regulation XII/11 (Loading instrument)
Regulation XII/12 (Hold, ballast and dry space water ingress alarms)
Regulation XII/13 (Availability of pumping systems)

.7 permit ships of single-side skin construction of less than 100 m in length to occasionally carry dry cargoes in bulk, provided:

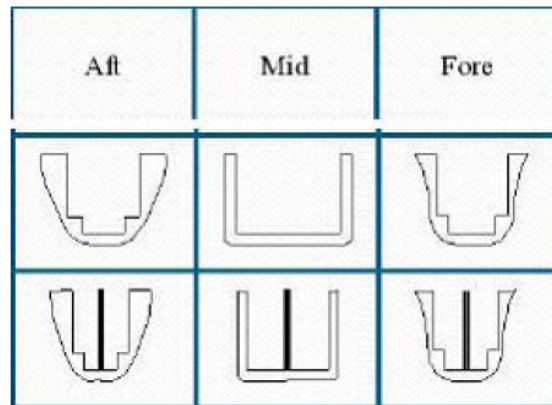
.1 the freeboard assigned is type B without reduced freeboard; and

.2 they comply with SOLAS regulations as applicable to bulk carriers to the extent indicated below:

¹ Double-side skin void spaces of ships in accordance with paragraphs 1.6 should be treated in the same manner as double-side skin spaces of bulk carriers.

SOLAS regulation
Regulation XII/11 (Loading instrument)
Regulation XII/12 (Hold, ballast and dry space water ingress alarms)
Regulation XII/13 (Availability of pumping systems)

- .8 note that the ships referred to in paragraph 1.6 above are commonly arranged with 'tween decks or have discontinuities of the inner shape of the cargo hold area in the fore and aft region such as illustrated below:



- .9 not consider a ship complying with paragraphs 1.6 and 1.7 to be a bulk carrier but, subject to compliance with the provisions in the relevant paragraphs, allow such ships to occasionally carry dry cargoes in bulk; and
- .10 issue ships falling under the provisions of paragraph 1.5 and ships occasionally carrying dry cargoes in bulk with a statement attesting to the application of paragraph 1.5, 1.6 or 1.7 under the provisions of this resolution;

2. INVITES Governments concerned to bring the contents of this resolution to the attention of all parties concerned.
